

熊野町立熊野第四小学校

住所：安芸郡熊野町川角295
 TEL：082-854-5145
 FAX：082-855-2484
 URL：http://www.urban.ne.jp/home/
 kuma04es/
 道徳教育推進者：田中敬子

1 研究主題

喜びをもって豊かに表現し合う子どもを育てる
 - 人とのかかわりの中で 思いやりの心をはぐくむ
 「道徳の時間」の展開 -
 ~ 対話活動を通して ~

2 研究の概要

研究仮説

* 人との関わりを通して、「気づく」、「深める」、「広げる」の3つのステップを取り入れた道徳の時間を展開し、対話活動などの伝え合う活動を取り入れれば、相手の考えを尊重しながら自分の考えを深め、児童に思いやりの心をはぐくむことができるであろう。

(1) Kuma4の3つのステップにおける工夫

ステップ1【気づく】体験の想起・映像や実物の提示・事前アンケートの結果等

ステップ2【深める】資料提示の工夫・話し合い活動の工夫(自分の立場を明らかに・対話活動)・発問の工夫・板書の工夫等

ステップ3【広げる】自己を見つめる活動・自己内対話等

(2) 対話活動の活用(ロールプレイ・ペアトーク・パートナーインタビュー・自己内対話)

3 心に響く道徳の授業「ベスト3」

	ロールプレイを取り入れて相手の立場に気づく授業	ペアトークを取り入れて考えを深める授業	自己内対話を通して自己を振り返る授業
学年	第1学年	第3学年	第6学年
主題名	友達と仲良く (2-(3)友情)	人に温かく接する心 (2-(2)思いやり・親切)	本当の親切 (2-(2)思いやり・親切)
ねらい	モンちゃんの気持ちを考えることにより、助け合い励まし合って、友達と仲良くしていこうという気持ちを育てる。	キャストの気持ちを考えることにより、相手のことを思いやり、温かく親切にしようとする心情を育てる。	本当の親切とは何かについて考え、相手の立場に立った気配りをしようとする態度を育てる。
資料名	「しっぽのないさる」 【教育画劇のかみしばい一部改作】	「お子さまランチをください」 【山田真「ディズニーランド流心理学」三笠書房】	「礼二くんのために」 【小六教育技術7月号増刊小学館(一部改作)】
授業内容	紙芝居により資料提示し、中心発問ではモンちゃんの気持ちを考えながら声をかけるところをロールプレイで演じた。隣同士で役になりきることで学級全体が主体的に学習に取り組むよう、また役割交代することによって両方の立場を体感するよう設定した。モンちゃんを誘う気持ちや一緒に遊ぶ方法も考えることができた。	心に響くようT1T2による劇化で資料提示の工夫をした。カラーカードによりキャストの心の迷いを自分のこととしてとらえ、ペアトークにより友だちの考えを知るとともに自分の考えを深める活動を取り入れた。資料は規則の尊重と関わるので高学年向きであると考えるが、児童の心に残る学習にはなった。	ぼくと礼二君それぞれの気持ちをワークシートに書くことでそれぞれの立場について考え、ネームカードを使って本当の親切なのかどうか話し合いをしていった。【広げる】ステップでは、自己内対話を行うことによって、これまでの親切について自分の生活を振り返った。相手の立場に立って行動しようとする態度を養う学習であった。
			